

現庁舎敷の歴史

～長崎発祥の地で公共的に利用されてきた場所～

県庁舎敷の変遷 (概要)	
1571年(元亀2年)	イエズス会「サンパウロ教会(岬の教会)」を建設
1614年(慶長19年)	キリシタン禁教令により破壊
1633年(寛永10年)	焼失した糸割符会所跡地に「長崎奉行所(東屋敷、西屋敷)」を移設
1673年(延宝元年)	東屋敷を立山に移設し、西役所を「長崎奉行所西役所」と称す
1855年(安政2年)	西役所内に「海軍伝習所」を開設
1857年(安政4年)	西役所内「医学伝習所」において講義を開始
1868年(明治元年)	「長崎会議所」→「長崎裁判所」→「長崎府」に改称 長崎府が立山役所跡へ移転
1869年(明治2年)	「長崎県庁」に改称
1874年(明治7年)	西役所跡に県庁舎が開庁(7月) 台風のため倒壊(8月)
1876年(明治9年)	新県庁舎を建設
1911年(明治44年)	新県庁舎を建設
1923年(大正12年)	長崎警察署(現:第三別館)建設
1945年(昭和20年)	原爆により焼失
1953年(昭和28年)	新県庁舎を建設

1. 江戸町周辺の変遷 (室町時代～江戸時代)

「岬の教会」
1571年(元亀2年)
大村純忠が「森崎」の地に町づくりを開始。6町が成立
(島原町・分地町・大村町・外浦町・平戸町・横瀬浦町)
新しい町がつくられた時、フィゲイレド神父(イエズス会:キリスト教の宣教師)は町の突端の波止場の傍らに小さな聖堂を建設

1614年(慶長19年)
岬の教会が破壊される(慶長・元和の大破却)



「岬の教会」イメージ図
(出典:旅する長崎学1 キリシタン文化1)

2. 江戸町周辺の変遷 (江戸時代)

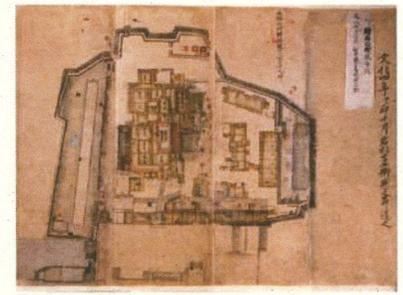
「長崎奉行所西役所」
1592年(文禄元年) 安土・桃山時代、豊臣秀吉が後の長崎奉行所を開設場所は本博多町(現在の万才町)
1633年(寛永10年) 長崎奉行が2人制となり、奉行所を東西二つの屋敷(東屋敷、西屋敷)に分割
同年、火災により焼失したため、同じく焼失した糸割符会所と敷地を交換し、現在地に両屋敷を建設
1673年(延宝元年) 立山屋敷(立山役所)を設置し、東屋敷を移設以降、旧役所を「西役所」と称す。
「海軍伝習所」
1855年(安政2年) 江戸幕府が、海軍士官養成のため、長崎奉行所西役所内に設立した教育機関幕臣や雄藩藩士から選抜して、オランダ人教師によって西洋技術・航海術・蘭学・諸科学などを学ばせる
1857年(安政4年) 西役所「医学伝習所」において講義を開始

3. 江戸町周辺の変遷 (明治～昭和)

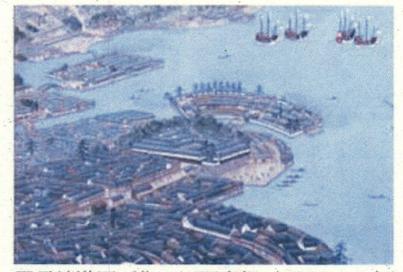
「県庁舎の変遷」
1874年(明治7年)7月 西役所跡に県庁舎開庁(洋風木造2階建て)
1874年8月20日 暴風のため新庁舎が倒壊
勝山小学校の一部に仮庁舎を設置
1876年(明治9年) 新庁舎の再建に着手して同年12月完成
1910年(明治43年) 県会議事院が完成
1911年(明治44年) 県庁舎が完成
1923年(大正12年) 長崎警察署庁舎建設
1945年(昭和20年)8月9日 原爆のため県庁舎と県会議事院が焼失
仮事務所を県立高等学校(旧長崎東高校)と勝山国民学校等に分散して設置
1953年(昭和28年) 新県庁舎を建設



■1673年頃の「長崎奉行所西役所と出島」



■「長崎諸官公衙図」(1808年)
文化5辰6月御改 松平図所頭様御在勤
(長崎歴史文化博物館蔵)



■長崎港図(作:川原慶賀(1786~?年))



■明治44年に建設された県庁舎



■幕府長崎海軍伝習所之図(財)鍋島報効会蔵
1858年頃の海軍伝習所と出島
(昭和初期に制作されたもの)



■原爆で消失した県庁舎